

あるこ!

九州自然歩道の旅⑦

福島 優

前回(1月16日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で福岡県赤村から添田町油木ダムまでの歩き旅でした。今月はついに英彦山の麓へと歩を進めます。

油木ダムの西側をのどかに歩いていきます。ダム湖の南部に「中の島公園」があります。中の島公園を左手に歩いていくと県道451号と合流します。ここに「神田」という地名があり、最初は「かんだ」という読み方をしてみました。実は「じん」で、「神社の神様に帰属する田」という由来を持つ「神



遠くに英彦山が見える今川沿いの道



美しい棚田眺めながら

田」という地名は、日本各地にあるそうです。

「神田」の三差路を南へ向かう県道418号を歩きます。ここは時折、車も通るきれいな車道。左手には今川が流れる、風情ある良いところでもありません。ちょうど天気も良く、歩いていると気分がウキウキしてきます。しばらく車道を歩き、カ



英彦山の麓には風情のある棚田が広がる

た林道を進みます。なだらかな道で歩きやすいなと思いきや木が倒れていたりと、岩がゴロゴロしたりして歩きづらい場所もありました。道が荒れているのは近年、増加した集中豪雨の影響だそうです。静かな森林の中、遠くで「ガサガサ」と音がします。足を止めて見てみると1頭のシカ。向こうもこちらをジッと見ています。こちらが歩きだすと俊敏な足で遠くの方へ去りました。

車の音が聞こえる方角へ行き、急な階段を上り終えると北坂本へ到着します。今歩いてきた宮元―北坂本の区間は、現在は福岡県が再整備を行い、歩きやすくなっているそうです。車道から少し離れただけで静かな森を感じられるコース、また歩いてみたいですね。そして北坂本では、大きな棚田が目に入ります。登り坂が多くなりいよいよ英彦山の麓という雰囲気が出てきます。

今回はのどかな道が続く油木ダム、そしてダムへ流れる今川沿いの約10キロ、3時間の歩き旅でした。来月は、英彦山山頂へと着きます。(九州自然歩道フォーラム会員 福岡市) 毎月第3木曜掲載



現在紹介している福岡県内の九州自然歩道の歩き旅は、アサヒビールの寄付を基にした福岡県の「ふくおか地域貢献活動サポート事業」の支援を受けています。その一環として、3月2日、3日に北九州市の福智山の登山道をきれいにするボランティア活動を行います。申し込み

は電話かファクスで。NPO法人グリーンシティ福岡092(215)3913。